

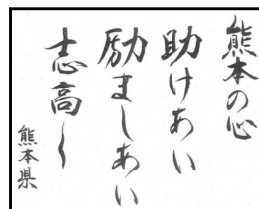


合志の旋風 ～自律貢献～

令和 8 年 1 月 1 6 日（金）No 3 5 発行
文責：松本 卓也

大好きな故郷の復興とともに成長したい ～二十歳の集い～

12 日（月）の成人の日に合わせて、県内各地で「二十歳の集い」が開かれました。熊本地震から 10 年経ち、当時小学 5 年生の子どもたちが門出の日を迎えました。甚大な被害を受けた益城町では、参加者代表の遠山みのりさんが、「様々な困難を経験し、友人とともに乗り越えてきたことは、日常の尊さを知り、日々の生活が多くの方々支えによって成り立っていることを実感できた貴重な経験であると思います。感謝を忘れず、成人としての自覚と責任を持って、大好きな故郷、益城町の復興と共に成長していきたい」と、誓いの言葉を述べました。



地震後の厳しい避難生活において、当時の子どもたちは、自分にできることを探し、周りの人を助け、自ら立ち上がり、動き出しました。そのような「助けあい、励ましあい、志高く」という熊本の子どもたちの姿は、ずっと語り継ぐべきものだと考えています。参加者の中には、「熊本地震の時に、一番最初に他県から来てくれたのが大阪府警で、その影響で大阪府警に行きたいと思った。優しく芯の強い警察官になりたい」と、当時の経験から進路を決めた人もいます。支えてくれた方々への感謝の思いを胸に、社会に羽ばたく二十歳の若者にエールを送ると共に、合志中の子どもたちも、ふるさと合志に誇りを持ち、未来を切り拓いてほしいと願います。



【20 年の軌跡】



【赤崎 蛍選手】



【竹田麗央選手】



後期後半も“自律貢献”を掲げます！

YouTube 合志市チャンネルに、「二十歳を祝う会記念動画」と「先輩から届いたお祝いメッセージ」が掲載されています。この 20 年を市制施行 20 周年と重ねて振り返る映像と、合志市の先輩である、ロービジョンフットサル日本代表キャプテンの赤崎蛍選手、プロゴルファーで合志市ふるさと大使の竹田麗央選手のメッセージです。ぜひ、ご覧ください。

自律 ～自ら気づき、考え、行動すること～

12 月 25 日（木）、生徒会執行部・委員長・副委員長を対象に、冬季リーダー研修を行いました。「リーダーとは」「地域との連携について」「努力達成指標」等、リーダーとしての自覚を深めたり、今後の生徒会活動の方向性を話し合ったりしました。講師としてお招きした PTA 会長の M 様、副会長の K 様からは、「これからの活動を考えると、楽しい、ワクワクしてきませんか？ぜひ、実行してください」とのお言葉をいただきました。学校生活をよりよくするために、自分たちで考え、行動してほしいと思います。PTA 執行部の皆様、ありがとうございました。



貢献 ～集団のために役に立とうとすること～

昨年末、各部活動で「地域清掃ボランティア活動」を行いました。部活動納めの日に合わせて、校内のみならず、日頃、お世話になっているヴィーブル等の体育施設や通学路のゴミ拾い等を行いました。「ゴミを拾うことは幸福を拾うこと」、ドジャースの大谷選手が恩師の教えにもとづき、試合の中でゴミを拾う姿が有名ですが、その行為は、その場所をきれいにするためだけのものではなく、自分自身の心を整えるためでもあるそうです。活動中、多くのゴミ（幸運）を拾い、清々しい笑顔が印象的でした。



※ご意見や感想をお待ちしています。「見ました」の一言でも構いません。

保護者名（ ）